



雄物川上流

No.264 発行日 平成29年12月27日
国土交通省 東北地方整備局
湯沢河川国道事務所 十文字出張所
〒019-0522
横手市十文字町字西上38-3
TEL 0182-42-0109



水門等水位観測員講習会が行われました

11月21日(火)、十文字出張所管内の水門等水位観測員講習会が横手市にて行われました。

この講習会は、樋管の操作技術の更なる向上と緊急時の連絡体制やトラブル発生時の対処手順等の確認を目的として行っており、毎年洪水の心配が少なくなる時期や雪解けによる河川の増水が心配される時期の前など、冬期に行っています。

今回は108名の観測員の皆さんが参加し、樋門・樋管の操作、点検方法の注意事項や説明を聞き、手持ちの資料と照らし合わせながら真剣に講習会に臨んでいました。

樋門・樋管は洪水時に重要な役割を担っています。観測員の作業は、洪水時の悪天候の中での作業が主となるため、危険が伴います。観測員の皆さんが安全に対応できるよう、当出張所でも今まで以上に体制を整えるとともに、今後起こりうる洪水に備え、連携を強化していきたいと思ひます。

水門等水位観測員とは

洪水時、増水した川の水が逆流し住宅に流れ込むのを防ぐため、堤防に設置されている樋門・樋管のゲート操作を行ったり、また緊急時に正確な操作ができるよう日常の点検を行っている方々のことです。

講習会のようす



水質事故の多くは油の流出！原因の大半は“不注意”

気候が一段と冷え込み、暖房が欠かせない時期になりました。毎年冬期間には暖房使用に伴う油漏れ事故が発生しています。その原因として暖房器具への給油の際、ちょっと目を離してしまったなど、人的ミスによる発生が大半を占めています。皆さんひとりひとりが気をつけることで、油漏れ事故を防ぐことができます。

油が漏れ出すと火災の危険があるほか、地下水や植物の生育障害や環境に悪影響を及ぼし、河川まで流れてしまうと水道の取水停止等、地域生活に重大なダメージを与えることから、流出防止策、早期の回収をする必要があります。その際の処理費用は、事故を起こした人が負担しなければなりません。原因者とならないよう、日頃から注意をお願いします。

事件事例：H29年10月、ホームタンクから小分け中、その場を離れ軽油が水路に流出。
ホームタンクからの流出量は150L。(水路への流出量は不明)
オイルフェンス設置。取水停止なし。

給油の時そばを離れない!!

油の流出事故が多発しています!

最近、一般家庭のホームタンクや事業所のタンクから、灯油などの油漏れが相次ぎ、河川などに流れ出す事故が増えています。そして、その多くが人的ミスによるものです。

油1缶50万!!

事故を起こすと油の回収・処理に約50万円の費用がかかります。そして、その費用は事故を起こした原因者が負担を担って負担しなければなりません。

●その場を離れない・目を離さない
●ホームタンクが満タンのまま放置しない
●給油時の油漏れや油臭には注意
●給油時の油漏れや油臭には注意
●給油時の油漏れや油臭には注意
●給油時の油漏れや油臭には注意

事故を起こした場合または疑った場合は、お近くの道庁の建設、市町村役場、消防署、警視庁等へご連絡ください。

雄物川水質汚濁対策推進協議会 国土交通省 東北地方整備局 湯沢河川国道事務所 十文字出張所 TEL:0192-72-5242

油の回収・処理にかかる費用(1缶18L当たり約50万)は油を流出した原因者が支払うこととなります!!

* 雪捨て場情報 *

今年も河川敷を雪捨て場として各市町へ提供しています。一般の方に開放されている箇所については、各市町の除雪担当へご確認下さい。

申請者	申請箇所
横手市	横手市大森町字大中島地内
	横手市十文字町佐賀会字古川添地内
	横手市大雄字小林地内
	横手市増田町増田字上川原地内 横手市雄物川町深井字深井地内
湯沢市	湯沢市関口字土樋地内
	湯沢市山田字下新山沖地内
	湯沢市岩崎字下川原地内
	湯沢市角間字水神川原地内
	湯沢市倉内字三ッ田地内
	湯沢市関口字土樋地内(湯沢統合堰右岸) 湯沢市柳田字堀廻地内 湯沢市泉沢字清水向地内

《お願い》
ご利用される方は、雪以外の物(ゴミなど)を持ち込まないようお願いいたします。